

# 議会だより みなみさんりく



町民の幸せを願って！福は内～〈海円寺〉

No.17

平成22年 2月発行

P 2 特集 台風18号による甚大な被害額 3億6千万円

P 4 ここが聞きたい（一般質問）

P 13 例年にない超大型補正予算（議案審議）

P 17 請願・陳情・意見書

# 特集

# 台風18号による甚大な被害額3億6千万円

平成21年10月8日に襲来した台風18号は、町内各所に被害をもたらしました。早朝から降った雨は午前9時頃から非常に激しい雨となり、総雨量204.5ミリを観測し、当町の日（にち）降雨量としては、過去最高を記録しました。台風による被害額は、特に雨量の多かった戸倉地区を中心に県管理の河川を含め3億6,000万円余となり、この内、被災ごみ、漂着ごみの処分費用、町道等公共施設等の復旧費総額は、7,600万円余となりました。復旧事業費として6,300万円を11月10日の臨時会で可決しました。

## 災害復旧費6,300万円補正

- 1、被害の概況**
- ①人的被害 1名
  - ②住家被害 一部破損 1世帯、床上浸水 26世帯、床下浸水 179世帯
  - ③停電 1,561世帯
  - ④道路の交通規制 県道3ヶ所、町道29ヶ所
- 2、施設被害**
- ①土木関係 2億1,390万円
  - ②産業関係 1億4,491万9千円
  - ③文教施設 305万円
  - ④保健福祉 8万円
- 計 3億6,194万9千円  
 安心安全な暮らしのために迅速な災害復旧をのぞむものです。



▲ 産業建設常任委員会による調査

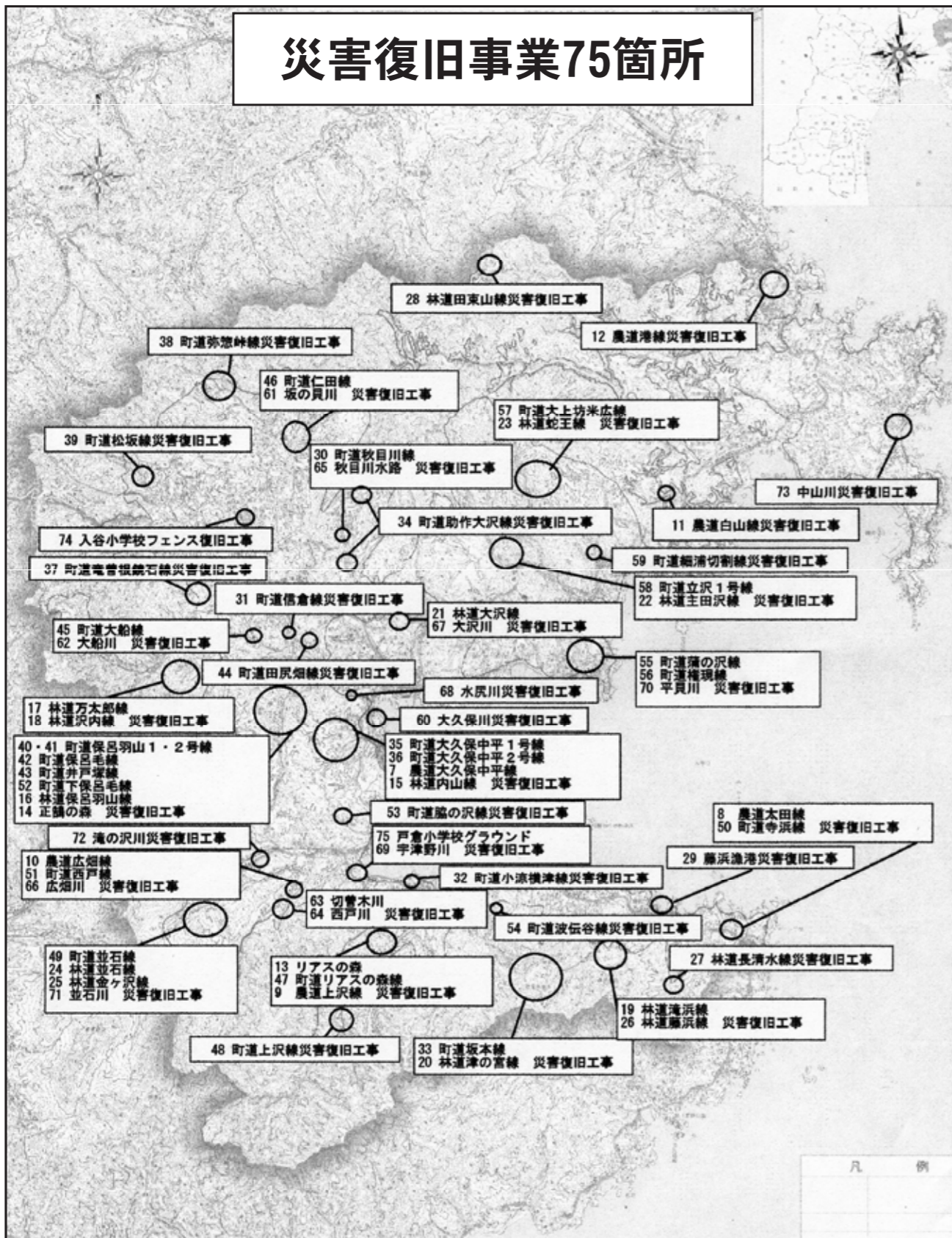
**問** 入谷地区でも鉄砲水で決壊したU字溝があるが、復旧作業は。  
**答** 災害復旧費に入っている。更に調査し対応する。  
**問** 県管理の河川崩壊で、田畑に岩石が堆積している。撤去費用は。  
**答** 撤去は県で行う。  
**問** 家屋が泥流被害を受けて水道水を多量に使用した。料金の減額はならないか。  
**答** 前年度の同期費と比較

し、オーバーしている水量は減免する。  
**問** 海岸の漂流物の処分はどうなるか。  
**答** 漂着ごみのカヤなどは、特例で焼却処分する。  
**問** 県管理漁港内のごみは、県で行うのか。  
**答** 今回は局所的であり、町で対応する。  
**問** 私有財産である農地災害が、今回補助対象になるのはなぜか。  
**答** 町の新たな助成制度です

業費から1万円を引いた4分の3の額を補助するもの。  
**問** 民有地や共同山の農道・林道は補助対象か。  
**答** 申請を受けて調査し検討する。  
**問** 土のうを一定の場所にストックできないか。  
**答** 消防署に備蓄している。400袋は常時使用できる。  
**問** 個人の養殖施設は補助対象になるのか。  
**答** 今回は、対象外である。



▲ 西戸地区の出水



### 災害復旧事業75箇所

# 一般質問 ここが聞きたい

12月定例会では、9人の議員により16項目について一般質問がおこなわれ、町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

## 総括質問

### 石泉線、西田・葦の浜線の整備は

山内 孝 樹 議員



#### 町長 整備の必要性は十分認識している

**問** 町長就任にあたり、公約として掲げた「住んで良かった、住んでみたい町づくり」に、幹線道・生活道の改良整備等の計画をあげているが、この中で県道弘川町向線に至る石泉線の未整備区間、西田・葦の浜線についての取り組みと考えを改めて問う。

**答** 石泉線の整備は平成17年度より延長920mの区間を



▲ 完了間近の石泉線

着手、本年度末に約800mの区間が完了見込みとなっている。残り区間は22年度内の完了を目指している。県道弘川町向線に至る落沢線は延長915m舗装されてはいるが、幅員が狭隘なため不便をきたしており、関係者の要望、地権者の同意を確認の上、整備方針を決定したい。西田・葦の浜地区の路線はこれまで要望があり、調査をしてきた。現道拡幅は困難で、代替案として複数のルートを検討しているが結論に至ってはいない。各路線は新町建設計画に掲げてあり、整備の必要性を十分認識している。

**問** 石泉線の地権者の問題は理解を得られたか。また、落沢線から県道弘川町向線は三陸道を想定し、アクセス道として地域でも思い望む路線であるが、今後の対応は。

**答** 農道整備事業の廃止により、中断せざるを得ない未整備部分については、以前、本吉町長と話し合いをした経緯があるが、新市になり、話し合いを持ってはいない。指摘点については今後の課題としたい。代替案ルートは、細浦から入り住宅地の裏を通る路線、また、国道45号線より入る路線も考えられるが、地域にとり、好ましいルートか話し合いを持ち進めたい。

## 一問一答

### 選挙公約(マニフェスト)の優先順位と財源は

大瀧 りう子 議員

#### 町長 財政を見直し優先度を選択する



**問** 選挙公約22項目を掲げているが、優先順位の考え方や財源をどう考えているのか。

**答** 適正な財政分析の下で計画的な財源を確保し、行政全般を抜本的に見直して、優先度を選択しながら実施する。

**問** 乳幼児医療費の無料化を通院を就学前までとあるが、中学校まで拡大する考えは。

**答** マニフェストは、町民との約束であり、町民福祉の向上につながる事業を優先していく。

**答** 中学校までの無料化では2,400万円の財源が必要。今後の検討課題である。

**問** 総合的施設として、志津川保育所の新築はいつになるか。図書館も入るか。

**答** 志津川保育所と子育て支援センターは、同施設になるが、図書館はもう少し詰めた議論が必要。新築時期は、財源を考えて検討する。

**問** 特養ホームは、多床室になるか。利用者の費用負担は。

**答** 多床室も計画される。利用者の介護度などにもよるが、低所得者の軽減措置の対象者は、1ヶ月6万円前後と思われる。



▲ 病院の医師確保は

### 公立志津川病院の医師確保は

町長 医師確保は困難

**問** 病院長の招聘と産婦人科医、小児科医を含む病院の医師確保は。

**答** 東北大学第2外科を中心に打診している。全国的な医師不足等の構造的な問題もあり、招聘の目処は立っていない。産婦人科、小児科医については、医師不足が顕著で、勤務体制が昼夜を問わず激務

**問** 政権が変わって、療養型病床の22床は継続できるのか。

**答** 病院の改革プランによる計画で、廃止の方向は変えない。

ているが、産科医師との前向きなネットワークづくりと考えてよいか。

**答** 中小病院の医師確保はむずかしい。そのため、ネットワークを組むことができないか。その前段として、研修を積極的に行っている。



▲ 志津川保育所の新築は

一問一答

マニフェスト総事業費の財源は

三浦清人議員

町長 補助金と合併特例債を予定



**問** 22項目の総事業費と町単事業費の財源は。

**答** 総額55億5千万円で、町単事業費9億3千万円は国県の補助事業と合併特例債を予定している。政権交代に伴い、少なからず影響が予想される。

**問** F R P 漁船の廃船処理費用の補助金は。

**答** 一次産業で出される廃プラ、漁網、浮き玉、ホタテネット等を対象に基本的に年間250万円計上したい。

**問** 廃船に対する補助は、一隻当たりいくらか。



▲ F R P 漁船の廃船処理の補助は

**答** これまで3分の1とか2分の1の補助基準を定めてきたが、漁協の支援も受けられるよう協議している。

**問** 乳幼児の外来医療費の無料化を就学時(6歳)までという考えだが、小学校6年生まで拡大できないか。

**答** 4歳から6歳まで引き上げにより新たに960万円の財源が必要になる。対象を6年生まで拡大するとさらに負担増となる。財政状況を考慮し、今後検討する。

**問** 公務員が加入している共済組合のシステムは。

**答** 共済組合からの家族医療費月額2万5千円を超えた分は、付加給付として交付される。共済掛け金は、職員22人分で2億5千6百万円を町で負担している。

特養老人ホームの建設計画は

町長 23年度開所予定

**問** 特別養護老人ホーム建設計画の進捗状況と設置法人の選定経緯について伺う。

**答** 社会福祉法人美楽会が、旧荒砥小学校敷地に鉄筋4階建て、個室60床、2床室20床、計80床を22年度に着工している。

**問** 法人選定については、公募ではなく特定の法人に通知したのはなぜか。

**答** 積極的に営業活動があったし、23年度開所予定。気仙沼、本吉地域などの4法人に案内をした。



▲ 特養老人ホームの建設計画は

た4法人に通知したが、美楽会を除く3法人が辞退した。

**問** 公募書類の提出期限に無理があったのではないか。

**答** 指摘があり一ヶ月延長した。今後は配慮する。

総括質問

戸倉荒町「並石線」の道路整備は

千葉伸孝議員

町長 予算活用は「選択と集中」が必要



**問** 国道45号線の交通障害への備えに戸倉荒町「並石線」を迂回路として道路整備の考えはないか。観光立町に向けて「並石線」を自然体験型ルートとして、長期的開発計画に加えてはどうか。荒町地区の

**答** 並石線の整備は、約10億円の財源を必要とし、将来の交通量を算定した結果、国の



▲ 荒町地区並石線の台風被災

採択条件に合致しない。「迂回路」の必要性は認識しているが、選択と集中が必要である。今後は観光振興面及び遊休未利用地対策という観点から、整備・開発を多方面から検討したい。荒町の道路・歩道が狭いという事で、国土交通省に対し幅員の陳情を展開している。

**問** 30年前からの戸倉荒町地区民の悲願が達成できない事は地域の格差ではないのか。

**答** 並石線の維持管理には十分対応していく。当町は三陸縦貫自動車道の整備促進を最重要課題として位置づけ、選択と集中が重要で理解をいただきたい。

中学校のスポーツ環境の改善策は

教育長 現状を踏まえた学校の裁量で

**問** 子供たちの教育環境は少子化により、中学校でも弊害が発生している。スポーツ少年団で活動して来た運動部がない学校もある。「子供たちには大好きなスポーツを！」が親の強い願いである。中学入学後に既存の部に入りながらの、スポーツシェアリングの活動はできないか。平成24

年から文部科学省の中学必修教科に「武道」があるが、スポーツで培った活動を役立てられないものか。

**答** スポーツシェアリング的な大会出場は可能。ただし、文化部に在籍か、選手として出場しない生徒に限る。必修教科の武道は平成21年度から、志津川中・戸倉中は柔



▲ 本吉郡剣道連盟新春初稽古会 (歌津中)

道、歌津中は剣道を選択し履修している。

**問** 相互間の意見交換会の実施は。必修教科の武道の科目変更はできるのか。

**答** お互い十分検討して行く。変更は学校の意見を尊重する。

**問** 今回の武道は、「南三陸町は剣道の町」をアピールできると思うがどう考えているか。

**答** 剣道の伝統を継承した

一問一答

まちづくりの財源確保と財政運営は

鈴木 春光 議員

町長 優先順位を決め実施する



問 厳しい行財政の中で、財源確保と行政運営をどう推進するのか。

答 町の財政状況は義務的経費が増大し、厳しい財政運営を強いられている。抜本的見直しで町民ニーズ、行政効果、緊急性等の優先順位を決

め実施していく。

問 公約を実施するには、国県の交付金と補助金さらに合併特例債をあてるとあるが、町の負担金はいくらか。

答 約2億9千万円が一般財源で、基本的には普通建設事

業費等と税収も含め4年間の財源にあてる。

問 税収も減少し、滞納額は増えている。人件費の割合も高いので職員の適正化計画は進めているか。

答 基本的には職員の退職不補充により最低限の人員確保で適正化計画を進める。

問 行政評価制度の導入は、なぜ24年度からなのか。

答 22年度中に大まかな骨組を作成し、効果が上がるよう制度設計を図る。

入谷小学校のプール整備は

町長 24年に供用開始

問 入谷小プール整備について具体的な設計計画方針は。

答 国の交付金を活用し、23年に工事を着工し、24年には供用開始したい。

問 公約には6,000万円

入谷横断1号線の整備は

町長 5年で整備促進を図る

問 入谷横断1号線の具体的な整備計画は。

答 横断1号線は国道398号線を起点として入谷天神に

と示されているが、規模や設計内容の算出根拠は。

答 25メートルの6コースのプールを造ると一般的に6,000万円事業費がかかる。

問 この路線は合併以前からの念願である。地域住民の要望課題であり、早急な整備ができないか。

答 平成23年度に詳細設計と用地買収し、整備促進を図る。



▲ 横断1号線の整備は

至る2・7キロメートルの幹線町道で本年度から予備設計に着手し、平成23年度から5年間で完了したい。

一問一答

地震津波対策は

小山 幸七 議員

町長 防災減災に努めている



問 有事の際のあらゆる場面を想定した対策は。

答 行政の責務は、町民の生命と財産の保護にある。有事の際は、ハード、ソフト両面の整備が必要で、町内各漁港河川等の防潮水門の整備、避

難誘導標識の設置、総合防災無線システムの整備、防災対策用品の備蓄、常備消防の整備等を行っている。地震津波

で最も肝要とされるのはまず生命の保護であると考え、避難訓練を重点とした総合防災

訓練の実施、生活支援対策として災害応援協定の締結。各地区の防災力の向上が必要とされるため、平成18年度より

自主防災組織育成補助制度を創設し、地域防災活動の拠点づくりを進め、防災、減災につとめている。

問 陸門閉鎖後の避難路の確保は十分か。

答 防潮水門には避難階段もある。常に避難経路や高台の場所を確認しておいてほしい。

問 海上保安庁との連携は、どのようになっているか。

答 海上保安庁、漁協と3者で協議をしている。

問 自主防災組織の達成率は。また、100パーセントの達成はいつ頃か。

答 62地区で34パーセントの達成である。今年度中には50パーセントにしたい。平成22年度中には100パーセント



▲ 総合防災訓練の実施

をめざしている。

問 有事の際の国道45号線の迂回道路はどのように考えているか。

答 三陸道を防災の道と位置付け、今、整備運動を展開している。



▲ 防潮水門にある避難階段

総括質問

台風18号の災害復旧は

山内昇一議員

町長 緊急箇所は応急工事済



問 戸倉地区の甚大な被害の復旧対策と土石流の警報器設置はできないか。
答 河川などの緊急箇所は、応急工事を実施した。現在、国、県も調査中である。また、土石流は確認されており、

ず、警報器設置は、現実的ではない。

携帯電話の圏外解消策は

町長 民間3社に継続要望する

問 山間集落に圏外解消の箇所がある。利用が当たり前の生活様式の現代で、観光客の利便性や公衆電話不足への対応策は。
答 携帯所有率83・4%で多くの町民の利用がある。現

在、民間3社とも、電波状況が良好だが入谷地区などの一部に圏外もある。国の基地局整備事業は終了したが、今後も圏外解消をメーカーに要望していく。

中山間事業は新たな体制で

町長 歌津地区を含む全町一体化で取り組む

問 第3期中山間地域等直接支払事業は来年度以降も継続するとの方向づけが確認された。これをふまえて新年度の取り組み施策は。
答 今後の制度は簡素化に努め制度内容を早期確立されるように国へ要望書を提出し

た。第3期取り組みに体制整備が速やかに図られるよう努めていく。

問 今までの内容より、面積、飛び地要件も緩和され、新規加入と事務処理も簡素化された。新年度の第3期スタートは全町一体化での取り組み

の実現の可能性が出て来たが、受け入れ農家の体制はどうか。
答 国の事業継続は決定したが、具体的内容はまだなので、協議結果を待つ。歌津地区の調査も進め、実現に努める。



▲ 通話圏外の解消を



▲ 中山間事業の取り組み施策は

一問一答

農林業の衰退は町の危機に繋がる

菅原辰雄議員

町長 意欲のある人に支援



問 以前は、農林水産業が元気で商店街も活気にあふれていたが、近年特に農業を取り巻く環境が極めて厳しい状況である。主産業の衰退は、町の衰退に繋がる恐れがある。この現状をどう捉え、どのような政策施策を講じて行くのか町独自の対策は。
答 生産者がやりがいを感じ元気の出る産業の確立が大事だが、現状は、市場価格の低迷や担い手の高齢化など大変厳しい環境にあり、国県の補助事業を活用し所得向上への施設整備事業等の支援策を講

じた。町としては、昨年畜産農家に飼料高騰対策事業支援や遊休農地対策、体験農園等に支援をした。今後も、経営安定を図り農業用廃プラスチック処分費用の助成、制度資金の利子補給制度を強化し、安定した就業基盤作りを支援する。

問 国県の補助事業や町独自の対策による成果は。
答 農水省は、年間3兆円を投入しているが、毎年2万戸の農家が減少している。町としても支援策を講じたが、即効性のあるものは難しい。昨年7月農商工連携促進法が制定され、地域流通モデル構築事業として、生産と販売の一体化への取り組みがスタートする。農林水産業はいかに所得を得るかでありそこに活路を見い出したい。産業は、生産者が主体的にやるのが基本である。

問 生産者が一歩踏み出しても苦勞の割には収入が少なく不安定だ。収入や生産安定継続への支援も必要では。
答 農業収入を増やせるよう生産と販売等の連携により、産業振興を図って行く。



▲ りんごの収穫



▲ 生産と販売の一体化を

一問一答

若者定住対策は

星

喜美男 議員

町長 効果的な対策を検討する



**問** わが町の人口は合併から4年間で、すでに1千人以上減少している。しかも、卒業シーズンの3月と4月の2ヶ月間で平均、約150人以上の減少がみられ、毎年多くの若者が町を離れている。高齢化率も約29パーセントと県内では7番目に高く、真に憂慮すべき状況にある。こうした

**1** 子育て支援策の拡充を図れないか。

**答** 社会環境の変化に伴い子育てニーズも多様化している。サービス内容や施設面の一部課題はあるが、その時々



▲ 子育て支援策の拡充を図れ

のニーズに応え、一定の水準は維持してきた。来年度から乳幼児医療費助成を就学前までに拡大する。また、志津川保育所、子育て支援センター、学童保育のさらなる充実を目指し、複合的な子育て拠点施設の整備を検討している。

**問** 小学校卒業までの医療費助成や子育て用品を支給している自治体もある。定住化を促すには、他の市町村との競争に勝たなくてはならない。先行投資のつもりで整備をすれば、町に活力が戻り税収もアップする。小さな町だからこそ、きめ細かい行政サービスが必要なのではないか。

**答** 財政状況など今後の動向を踏まえながら検討する。

**2** 若者定住促進住宅の早期建設はできないか。

**答** 住宅の提供は定住人口の増加に有効な手段だが、町営住宅整備と関連した検討が必要だ。また、民間住宅へ入居する際の賃貸助成など検討の余地はある。

**問** 地域活動に積極的に参加する意欲ある若者を優先的に入居させるなど、ひも付きでない町の財源で、若者限定住宅を建設する必要があると思うが。



▲ 若者定住促進住宅の早期建設は

**答** 国の補助金に頼らない手法としては、※PFIや民間アパート入居への賃貸助成などが考えられるので検討する。

**3** 企業立地奨励制度のさらなる充実には。

**答** 定住化の推進には就労の場の確保が不可欠であり、来年度の実施に向け、制度の内容を検討中である。また、新規学卒者雇用奨励金制度についても、1人10万円を30万円に増額したので、現在県内ではトップとなっている。

**問** 企業立地奨励条例の要件を緩和し、対象枠を広くして、企業立地や増設を促し雇用の拡大を図ってはどうか。

**答** 条例の要件見直しは柔軟に対応する。また、対象業種も以前は製造業に限定していたが、拡大する考えである。また、雇用奨励金は現在1人5万円だが、これも検討する。

※PFI…公共施設などの整備を、官民役割分担のもとに民間の資金や能力、ノウハウを活用することで、より効果的に行う手法。

例年にない超大型補正予算

案議 議審

12月定例会は、12月8日から11日までの4日間の会期で開かれました。乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正などについて審議し、原案のとおり可決しました。また、11月の臨時会での可決内容も掲載しました。

一般会計では9億1,712万円が追加され、総額89億9,534万円、前年比17億6,142万円(24.6%)の増となり、これまでにない大型の補正予算の提案となりました。その大きな要因は、平成22年度以降の事業である防災無線、戸倉小学校体育館建設事業を今年度前倒して実施することにより、国からの有利な財源を確保する見通しが立ったことから、補正計上されたものです。今回の一般会計・特別会計の補正予算は、審議の結果いずれも全員賛成で決定しました。

防災無線、戸倉小学校体育館建設を前倒して実施

●防災行政無線システム整備事業として、全面的に改修整備するものです。財源は、合併による一体性を促進するための特例債(借入金)が活用される。

事業費総額 7億1,750万円。

**問** 供用開始の時期は。また、住居と作業場が離れている場合、2台目は自費での設置になるのか。その際の負担額はいくらか。

**答** 平成23年4月供用開始の予定である。基本的には1世帯に1台無償貸与という形で設置をする。町からの貸与以外の場合自己負担となり、電波の良い地区は約5万円、電波が悪いとさらにアンテナが必要で約5万5,000円になる。

●戸倉小学校屋内体育館整備事業として、総事業費2億3,769万円で平成23年の完成予定。

●台風18号災害資金対策の利子補給事業として、JA南三陸が創設した災害対策資金に利子の助成を行うもの。期間は10年間、貸付限度額300万円。

**問** この制度の内容と利用状況は。

**答** 3年据え置きで、基準金利が1.975%、町とJA南三陸が0.488%を補助して、実質金利は1%になるので、今後の利用が見込まれる。

●石巻赤十字病院救命救急センター運営助成金として139万7,000円を計上。安



**問** 心と安全確保のための当町負担分。

**答** 3市2町のうち、当町の負担割合は。

れる。3,552万7,000円を見込んでおり、実績割では20年度は約1万7,600人の利用のうち、当町では377人で2%になる。



### ▼ 一般職

一般職員の給与については平均0・2%の引き下げ、6月期支給の期末勤勉手当の支給割合を1・95ヶ月に、12月期は2・20ヶ月に引き下げ、また住居手当の廃止などの提案がなされ採決の結果起立多数で可決。

### 職員給与引き下げに

#### 反対討論

大瀧りう子議員  
人事院勧告制度は、公務員の労働基本権制約の代償措置として設けられている。賃金の引き下げは、消費をおさえ、地域経済に大きな打撃となる。家計を温め、消費購買力を高めることこそ必要であると考え、本案に反対する。

### ▼ 議会議員

議会議員の議員報酬、費用弁償期末手当に関する条例の改正を行い、議員提案により議員の報酬の引き下げ（月額200円）、期末手当の支給割合を6月期1・45ヶ月に12月期1・70ヶ月に引き下げを決定。

### 選挙管理委員

#### 並びに選挙管理

#### 委員補充員選挙

選挙管理委員並びに選挙管理委員補充員の選挙が行われ、  
選挙管理委員には  
平井 一夫氏  
（戸倉町）再任  
高橋直一郎氏

### 町長・特別職の

#### 給与等を減額

今回の改正は政策的な判断から町長の任期中に減額を行うもの。  
新しい任期（平成25年11月5日まで）町長、副町長は10%、教育長は7%の減額を以下のとおり決定。

	支給額	1ヶ月の減額分	年間の減額分
町長	797,000円	79,700円	956,400円
副町長	609,000円	60,900円	730,800円
教育長	496,000円	34,720円	416,640円

3人分の合計減額は、年間2,103万3,840円となる。

### 人事院勧告によりさらなる減額

#### 特別職

12月1日から町長、副町長、教育長の給与を町長79万5,100円（支給額は10%減）、副町長60万7,600円

（支給額は10%減）教育長49万4,800円（支給額は7%減）に引き下げることが可決しました。  
また、期末手当の支給割合を6月は、1・45ヶ月に、12月には1・65ヶ月に引き下げることが可決。



▲ 稲淵漁港

### 今後の委員会活動

- 総務常任委員会  
財政を取り巻く環境と諸課題について
- 産業建設常任委員会  
台風18号における災害実態調査について  
これまでの所管事務調査の検証について
- 民生教育常任委員会  
福祉行政について  
教育行政について  
医療行政について
- 議会運営委員会  
議会の運営に関する事項
- 議会広報に関する特別委員会  
議会広報及び公聴に関する調査
- 三陸縦貫自動車道建設促進に関する特別委員会  
三陸縦貫自動車道建設促進に関する調査
- 議行財政改革に関する特別委員会  
議会における行財政改革に関する調査

### 議会の傍聴をしませんか。

- 3月2日(火)(予定)から定例議会が開催されます。
  - 議会を傍聴する方は議会事務局で、住所、氏名を傍聴受付簿に記入するだけです。
  - 日程等詳しいことは議会事務局にお問合せ下さい。
- ▶ 議会事務局 TEL46-1375

### 教育委員会委員の

#### 任命に同意

佐々木達郎氏  
（志津川 南町）新任  
阿部 美好氏  
（歌津 伊里前）新任

### 監査委員の選任に

#### 同意

田村 章氏  
（志津川 御前下）再任

### 人権擁護委員の

#### 候補者の推薦について

人権擁護委員の候補者として、同意。



# ちょっとひと息 ブレイクタイム

## 居ながらにして、 議会の様子を議会傍聴と 同様にご覧いただけます

議場の映像システム工事が完了し、これまで固定カメラで議会の様子をお知らせしていましたが、より鮮明にそして発言者個々の映像をお送りすることができるようになりました。



▲ 放映されている議長の様子

### 臨場感を持ってご覧 いただけます

これまでの議会の様子は、議員席全体を固定カメラで放映し、音声についても誰が発言しているか表示されていませんでした。住民の方々から、固定のカメラ映像では議場の様子は音声だけで、しかも内容がわかりにくく誰が発言しているかわからない。また、見ている時間も長時間悶々が続かないなどのご意見が寄せられていました。これらを解消するために、議場の映像システムの全面改修を行い、議

員や町長を始め担当課長も含めて、発言者個々の映像が氏名の表示と共に映像としてお送りすることができるようになりました。これにより、議員の表情、町長等の答弁の様子が臨場感を持ってご覧いただけます。

### 気軽に議会に触れて みてください

議場での会議の様子はこれまでと同様に、定例会、臨時議会、特別委員会等の様子を放映しています。会議の開催当日は、生の映像がリアルタイムでご覧いただけますし、

当日ご覧いただけない方については、会議の様子を記録した録画をいつでもご覧いただけるようになっていきます。また、過去の会議内容もご覧いただけます。視聴する方法はこれまでと同様ですが、役場、総合支所の窓口や公民館、図書館、病院などの公共施設にあるテレビで見える方法と、パソコンをお持ちの方は、町のホームページから議会の項目を選択することにより自宅で見ることもできます。公共施設でご覧いただく場合は、職員に気軽に声を掛けください。



▲ 放映されている町長の様子

### 議会中継を通して 町づくりに参加

議会の会議においては、16名の議員が住民の意向やそれぞれの立場からの質疑や質問だけではなく、町長からこれから何をしようとしているか、地域の課題、問題をどのように解決するのか、また、町づくりの方向をどのように考えているのかが示され、議論されるものです。この会議内容を、住民の皆さんが関心を持ってご覧いただくことは、これからの町づくりに積極的に参加していただくため、大変有効なきっかけづく

りと情報の提供になるものと考えております。さらに、住民皆さんが選出した議員の活躍ぶりも議会中継を通して、ご覧いただきたいと思えます。

### 議会情報の提供

今回、このように議場の映像システムが整備され、お知らせしましたが、これ以外にも町のホームページから南三陸町の議会の概要や議員の紹介、これまで発行した議会だよりのバックナンバーも見る事ができます。年4回の議会だよりの発行だけでなく、より新鮮な議会の様子を今後とも積極的にお知らせしてまいります。一方的な議会からお知らせだけではなく、住民の方とコミュニケーションをしっかりと取りながら、今後の議会活動を展開していきますので、住民皆さんからのご意見、ご要望を議会議員、議会事務局まで是非お寄せください。  
\*今回紹介した映像システムや議会に関する問い合わせは、お気軽に議会事務局（☎46-13375）までお願いします。

# 請願・陳情・意見書

今定例会では、国に対して、2件の意見書の提出を決定しました。その内容についてお知らせします。

### 改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

国会及び金融庁に対し、すべての人が多重債務に陥らないように、現存する多重債務者が早期に救済されるよう、多重債務問題解決のため、以下の事項を強く要望する。

1. 改正貸金業法を早期（遅くとも本年12月までに）完全施行すること。
2. 自治体での多重債務相談体制の整備のため相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること。
3. 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。
4. ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

### 三陸縦貫自動車道の事業促進を求める意見書

道路整備の立ち後れている当地方の実情を理解いただき、三陸縦貫自動車道の事業促進のため、以下の事項を強く要望する。

1. 三陸地域の実情に十分配慮し、真に必要な地方の道路整備を計画的かつ着実に進めるため、今後とも必要な予算の安定かつ重点的な配分を図ること。
2. 「登米志津川道路」、「南三陸道路」、「本吉気仙沼道路」及び「唐桑道路」の早期整備を図ること。
3. 南三陸町歌津～気仙沼市大谷間及び気仙沼市～陸前高田市間の早期事業化を図ること。

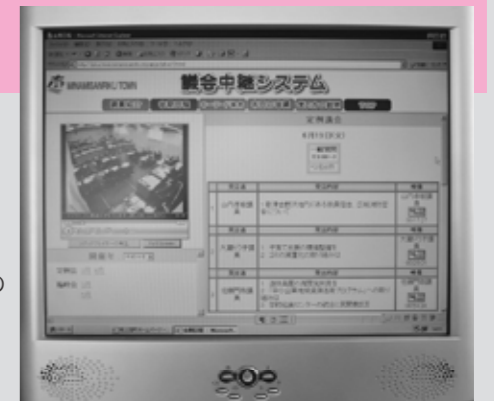
これらの意見書は、国の関係機関に送付されました。

## パソコンで議会中継をみる

### 【視聴手順】

- ① 「南三陸町ホームページ」を開く。
- ② 画面左側目次（南三陸iねっと）の「議会中継システム」をクリック。
- ③ 議会開会中は「ライブ映像へ」をクリックし、画面右側の「VOD」をクリック。
- ④ 議会閉会中は「録画映像へ」をクリック。
- ⑤ 開催年の矢印をクリック。開催年を選択し、クリック。
- ⑥ 定例会「〇月」または臨時会「〇月」の各月を選択し、クリック。
- ⑦ 画面右側の「VOD」をクリック。

（一般質問）を視聴する場合は、「一般質問」をクリックした後、各議員の「VOD」をクリックするとご覧いただけます。



# わたしの意見 あなたの提言

## おいこさいっぱいのわが町バンザイ

歌津 伊里前 小山 よしみ



私は、3人の息子を持つ歌津生まれの年女です。生まれてこの方、当たり前のようにこの土地に根付いて生きて来ました。

昔、夏は、毎日海で泳ぎ、学校から帰ると山に遊びに行ったりしていました。夕方になると、友達のお母さんが300m位離れている家から「〇〇ごはんだー帰ってこーい」と大声で呼んでいる声でみんな家に帰ったりしていたものでした。今考えるとアルプスの少女顔負けののどかな生活でした。今の子供達は、インターネットや家で田舎の子も、都会の子も情報量は変わらない

し、ファッションにしても全国どこに行っても似たような店があつて違いがなくなつて来たような気がします。

南三陸町ならではの資源は、アワビやウニをはじめタコ、カキ、ホヤ、ワカメ、他もりたくさんです。町でもお祭りやイベントが盛んに行われており本場にすばらしい事だと思えます。なるべく私もイベントには行つてみたいと思つているのですが、たまにイベントが重なつて行けない事がありません。

そうですね、要望、書いて言えば「イベントが重ならないようにお願いしたい」との事でしょうか。ちなみに、産葉まつりでは、小豆と塩サケとワカメの茎の漬物などを買いしました。どれも絶品でした。

## 「おもちゃ図書館」クリスマス会 子供から教えられたこと

志津川 南町 昆野 牧人



♪糸まきまき糸まきまき♪  
「えっ」

手遊びをして歌ったら、すぐに男の子の音が、返つてきたのです。

横を見たら、女の子の顔がここに笑つています。車イスにすわつている男の子は、顔中が喜びにあふれています。目の前では、小さい女の子が、♪できたよ、できた♪で、手を高く上げて、私を見上げています。

これは、「おもちゃ図書館」のクリスマス会で、手遊びをして歌い出した時の様子です。

「おもちゃ図書館」に来て、おもちゃで遊ぶ子どもたちの多くは、障害を持つています。

この子どもたちと初めて手遊びをして歌つたのですが、その子なりの表現で楽しんでいるのが、びんびん伝わって

きたので、小学校で子どもたちと歌つた喜びが体中に蘇つてきました。

手遊びをして教えた私の方が、子供たちから心を開かされ、喜びを与えられたのです。

私はかつて、新任の時に、弾けないピアノでも明るく歌つてくれる子供たちに、ありがたく思つて毎日ピアノを弾きました。子供たちが歌つてくれたから、ピアノが弾けるようになったのです。子供たちが私にピアノを弾かせてくれたのです。私の可能性を広げ、それにもまして私を素直に輝かせてくれたのです。本当に子供たちに感謝しています。

また、今回、障害を持つている人たちに對しても、手遊びをさせてくれ、私を輝かせてくれて、ありがとございます。という素直な気持ちでいられる自分がありました。障害を持つている人たちの魂が、心を開き、素直な心で生きることが大切だと、私たち町民にも訴えかけているようにも思えてきました。

## 編集後記



昨年10月の改選で新しい広報委員のメンバーになりました。11月の臨時会と12月定例会の報告をお届けします。

今後も広報委員全員で研鑽し、町民の皆さんへの読みやすい、わかりやすい紙面づくりを目指して行きます。

町民みなさんの声をお寄せください。

## 議会広報に関する

### 特別委員会

委員長

大瀧 りう子

副委員長

山内 孝樹

委員

千葉 伸孝

山内 昇一

星 喜美男

菅原 辰雄

